







本機に関する (取扱い説明書を含む) 最新情報は、当社サイト (http://www.dgshape.com/) をご覧ください。

	目次		2
第1	章は	じめに	4
	本機に	ついて	5
		本機の特長	5
		各部の名称	5
	基本操	作	9
		電源をオンにする	9
		電源をオフにする	9
		ソフトウェアを起動する	
		ソフトウェアのヘルプを表示する	
第2	章 印	刷	11
	印刷前	の準備	12
		印刷の流れを確認する	
		METAZAStudio を起動する	
		METAZAStudio 画面	
		METAZAStudioの出力先を設定する	
		材料を用意する	
	材料の	固定	19
		材料の固定方法を選択する	
		材料をセットする(材料厚さ:0~26mmの場合)	
		材料をセットする(材料厚さ:24~50mmの場合)	
		材料をセットする(材料厚さ:50~216mmの場合)	
	印刷デ	ータの作成	32
		Step 1:印刷データ作成の準備をする	
		Step 2:画像を読み込む	
		Step 3:文字を入力する	
		Step 4:印刷位置と大きさを合わせる	
		Step 5:印刷データを保存する	
	印刷…		39
		箔と光吸収フィルムをセットする	
		印刷する	
	印刷の	中止	44
		Step 1:印刷を中止する	
		Step 2:印刷待ちのデータを消去する	
第3	章 メ	ンテナンスと調整	46
	日常の	お手入れ	47
		日常のお手入れにおける注意事項	47
		本体の清掃	47
		粘着シートの清掃	47
		フィルムフレームの清掃	
	調整		49
		レーザーポインターの位置を調整する	
	消耗部	品の交換	50
		レンズの寿命を確認する	50
		光吸収フィルムを交換する	51

第4章 詳細な操作 / 設定	
フィルムフレームに合わせてデータを作成する	55
画像を加工する	58
画像の必要な部分だけを残す(トリミング)	
画像の位置/大きさ/傾きを調整する	59
画像をフレームで囲む	61
文字を配置/加工する	63
文字の位置/大きさ/傾きを変更する	63
文字を扇形に配置する	64
図形に沿って文字を配置する	
文字を塗りつぶす	67
線文字を生成/加工する	69
線文字と SFEdit2 について	
SFEdit2 画面	
線文字フォントを生成する	71
入力した文字を線文字フォントに変換する	73
線文字を編集する	
バリアブル印刷用のデータを作成する	77
Step 1:「差し込み枠」を作成する	
Step 2:「文字列」を「差し込み枠」に配置する	
印刷条件を調整する	
印字圧を調整する	
箔を登録して印字パワーを調整する	
ドライバーの基本設定を変更する	
METAZAStudioのその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第 5 章 付録	86
 METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第 5 章 付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している	
METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない 思った場所に印刷できない	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録	
METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録	
METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している。 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない 思った場所に印刷できない 印刷が汚い(むら、よれがある) いつも同じ場所が印刷されない 印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager) ドライバーを個別にインストールしたい ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールしたい Step 1: 材料固定具を本機から取り外す	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章 付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している。 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない。 METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない。 思った場所に印刷できない。 印刷が汚い(むら、よれがある)。 いつも同じ場所が印刷されない。 印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい。 レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager)。 ドライバーを個別にインストールしたい。 ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい。 ドライバーをオンストールできない。 ドライバーをアンインストールしたい。 ドライバーをアンインストールしたい。 ドライバーををたいろい。 ドライバーををたいろい。 ドライバーを水のストールできない。 ドライバーを水のストールできない。 ドライバーをアンインストールできない。 ドライバーをアンインストールしたい。 ドライバーを水のら取り外す。 Step 1: 材料固定具を本機から取り付ける。	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない 思った場所に印刷できない 印刷が汚い(むら、よれがある) いつも同じ場所が印刷されない 印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager) ドライバーを個別にインストールしたい ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい ドライバーをオンストールできない ドライバーをアンインストールしたい 移送するときは Step 1: 材料固定具を本機から取り外す Step 2: 固定具を本機に取り付ける	
METAZAStudio のその他の操作について	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない 思った場所に印刷できない 印刷が汚い(むら、よれがある) いつも同じ場所が印刷されない 印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager) ドライバーを個別にインストールしたい ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールしたい ドライバーをアンインストールしたい ドライバーをアンインストールしたい メ体仕様 ワークエリア 印刷領域 レーザーポインター昭射範囲	
METAZAStudio のその他の操作について 第5章付録 こんなときは 「電源/移動」ボタンが点滅している 印刷データを送っても本機が動かない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で箔を選択できない METAZAStudio で箔を選択できない のHの時に印刷できない 取りが汚い(むら、よれがある) いつも同じ場所が印刷されない 印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager) ドライバーを個別にインストールしたい ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールしたい ドライバーをアンインストールしたい Step 1: 材料固定具を本機から取り外す Step 2: 固定具を本機に取り付ける 本体仕様 ワークエリア 印刷領域 レーザーポインター照射範囲 定格電源およびシリアル番号の表示位置	

第1章 はじめに

本機につい	7	5
2	- ×機の特長	5
名	各部の名称	5
基本操作		9
	፪源をオンにする	9
Ē	፪源をオフにする	9
3	ノフトウェアを起動する	10
2	ノフトウェアのヘルプを表示する	10

本機について

本機の特長

本機は、レーザー光を活用した箔押しプリンターです。箔を使ってイラストや文字を印刷することで、プ ラスチック製品等に高級感のある加飾ができます。 印刷データは、専用のソフトウェアで手軽に作成できます。



各部の名称



ヘッド

レンズから照射されるレーザー光により、材料に箔を転写します。レンズは消耗部品のため、適切な 時期に交換してください。



材料固定具

材料固定枠

厚みのある材料をはさんで固定します。材料の幅に合わせて、固定する向きを変えられます。



かさ上げテーブル

ベーステーブルの上に設置し、薄い材料でも印刷できるように高さをかさ上げします。



光吸収フィルム

光吸収フィルムにレーザー光を当てることで、光を熱に変換します。裏と表を間違えると、熱に変換できず、 印刷されませんのでご注意ください。詳細は、P.51 "光吸収フィルムを交換する"をご覧ください。



この熱により、箔を材料に転写します。



フィルムフレーム

裏面に貼ってある粘着シートで、光吸収フィルムを固定します。



ヘッド検出用治具

ヘッドを検出するための治具です。高いものと低いものの2種類あります。材料の厚さに合わせて使いわけてください。



電源をオンにする

手順

[電源/移動] ボタンを押す。

ヘッドが左奥の位置に移動し、電源/移動ボタンのランプが点灯します。この動作を初期動作と呼び ます。



ご注意:電源ランプが点滅したままの場合

電源をオフにする

手順



ランプが消灯し、電源がオフになります。

ソフトウェアを起動する

Windows 10 の場合

- ① [スタート] ボタンをクリックする。
- ② [使用したいソフトウェア名]の [使用したいソフトウェア名] アイコンをクリックする。

Windows 8.1 の場合

- ① [スタート] 画面の 🕑 をクリックする。
- ② アプリ画面から [使用したいソフト名] アイコンをクリックする。

Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタンをクリックする。
- [すべてのプログラム](または [プログラム])をクリックする。
- ③ [使用したいソフトウェア名]の [使用したいソフトウェア名] アイコンをクリックする。



ソフトウェアのヘルプを表示する

ソフトウェアを起動し、メニューから「ヘルプ」-「目次」の順にクリックする。



第2章 印刷

印刷前の)準備	12
	印刷の流れを確認する	12
	METAZAStudio を起動する	13
	METAZAStudio 画面	14
	METAZAStudio の出力先を設定する	16
	材料を用意する	17
材料の固	定	
	材料の固定方法を選択する	19
	材料をセットする(材料厚さ:0 ~ 26 mmの場合)	20
	材料をセットする(材料厚さ:24 ~ 50 mmの場合)	22
	材料をセットする(材料厚さ:50 ~ 216 mmの場合)	26
印刷デー	-タの作成	
	Step 1:印刷データ作成の準備をする	32
	Step 2:画像を読み込む	34
	Step 3:文字を入力する	36
	Step 4:印刷位置と大きさを合わせる	37
	Step 5:印刷データを保存する	38
印刷		
	箔と光吸収フィルムをセットする	39
	印刷する	40
印刷の中	9止	
	Step 1:印刷を中止する	44
	Step 2:印刷待ちのデータを消去する	44

印刷前の準備

印刷の流れを確認する



METAZAStudio を起動する

Windows 10 の場合

- ① [スタート] ボタンをクリックする。
- ② [Roland METAZAStudio]の [METAZAStudio] アイコンをクリックする。

Windows 8.1 の場合

- ① [スタート] 画面の 🕑 をクリックする。
- ② アプリ画面から [METAZAStudio] アイコンをクリックする。

Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタンをクリックする。
- [すべてのプログラム](または [プログラム])をクリックする。

③ [Roland METAZAStudio]の[METAZAStudio]アイコンをクリックする。

R		
	Roland METAZAStudio	新規 へ
	METAZAStudio	新規
	METAZAStudio Help	新規
←፱	₹3	
	WebとWindowsを核	家

METAZAStudioが起動します。

METAZAStudio 画面



番号	名称	機能概要			
(1)	メニューバー	METAZAStudio のさまざまなコマンドを実行します。			
		METAZAStudio	ヘルプ(「コマンド解説」)		
		ツールバーには、〔材料〕	や〔開く〕など METAZAStudio のコマンドを実行する		
(2)	ツールバー	ためのボタンが用意され	ています。		
		METAZAStudio	ヘルプ(「コマンド解説」>「ツールバーのボタン」)		
		差し込み枠にデータを挿	入したとき、画面に表示するページ(レコード)を指定		
(3)	ページ送りバー	します。バリアブル印刷	のときに使用します。		
		☞ P.77 "バリアブ	ル印刷用のデータを作成する "		
		☞ METAZAStudio ヘルプ(「ヒントとテクニック」>「バリアブル印刷をする」)			
(4)	ステータスバー	カーソルの現在位置/図 ルバーのボタンにマウス ントしたときは、その簡	形情報/グリッドの間隔/表示倍率を表示します。ツー ポインターを置いたときや、メニューのコマンドをポイ 単な解説がステータスバーの左端に表示されます。		
		カーソルの現在位置	現在のカーソルの位置を表示します。画面の中央(中 心線の交わった位置)が(0、0)の位置です。		
		図形情報	 画面上に配置したオブジェクト(画像/文字/図形) をクリックすると表示されます。現在の図形の中心位置と、大きさが下図のように表示されます。 中心: -0.3, -0.5 mm 大きさ: 28.6, 21.8 mm 		
		グリッドの間隔	グリッドの間隔を表示します。この表示上をクリック すると、グリッド表示に関するメニューが表示されま す。		
		表示倍率	現在の画面の表示倍率を表示します。この表示上をク リックすると、表示倍率を変更できるメニューが表示 されます。		



番号	名称	機能概要
5	ワークエリア	レーザーの可動領域です。LD Driver で設定されているワークサイズが示され ています。
6	LP 移動可能エリア	この範囲内で、レーザーポインターを移動できます。
7	LP 移動不可エリア	ここには、レーザーポインターを移動しないでください。移動しようとすると、 意図しない位置でレーザーが照射されてしまうことがあります。
8	中心線	画面の縦方向、横方向の中心位置をそれぞれ表します。
9	グリッド	ワークエリアに表示されている格子線のことです。画像や文字の位置を合わ せるときの目安にします。
10	余白	ワークエリアの端から内側にとられる、印刷されない空白領域です。 METAZAStudio インストール時は 2 mmに設定されています。余白の大きさは、 [ファイル] メニューの [環境設定] で変更できます。
(1)	ヘッド検出位置	画面内を操作して、本機に取り付けた位置と同じ位置にヘッド検出用治具を 表示させてください(左奥/右手前)。

METAZAStudio の出力先を設定する

手順

- 本機の電源をオンにする。
 - ☞ P.9 " 電源をオンにする "
- 2 METAZAStudio を起動する。
 - ☞ P.13 "METAZAStudio を起動する "
- 🚯 [ファイル] [プリンターの設定] をクリックする。



「プリンターの設定」画面が開きます。

- ④ 出力先のプリンターを選択する。
 - ①「DGSHAPE LD-300」を選択する。
 - ② [OK] をクリックする。

プリンターの設定	×
(1) ^{1)1/9-}	
プリンター名(N): DGSHAPE LD-300	✓ プロパティ(P)
状態: 準備完了	
種類: DGSHAPE LD-300	
場所: USB001	
אלאר:	
	印刷の向き
サイズ(Z): User Size	● 縦(O)
給紙方法(S):	
ネットワーク(W)	OK ++>\tell

材料を用意する

本機で印刷可能な材料の条件として、下記それぞれの条件をすべて満たす必要があります。

材質

- ・アクリル
- ・ ポリプロピレン
- ・ポリスチレン
- ABS
- 革
- ポリウレタン
- 塩ビ

厚さ

最大 216mm

大きさ

幅:最大 323 mm

安定して固定できる大きさであること

本機では、粘着シートや固定具を使って材料を固定します。粘着シートや固定具からはみ出る大きさでも 問題ありませんが、本体内に安定して固定できることが条件です。

かさ上げテーブルを使用する場合:どちらかのヘッド検出穴が隠れない材料の大きさであること



かさ上げテーブルを使用しない場合:ヘッド検出用治具が正しく取り付けられる材料の大きさであること

形状

印刷面に段差がないこと

材料セット時や印刷時に、本機可動部が段差に接触する材料には印刷できません。



ゆるやかな 0.5 mm 未満の起伏であること

ヘッドが追従できる高さ変位でないと正しく印刷できません。

材料の固定方法を選択する

材料の厚さによって、材料の固定方法が異なります。基準は次のとおりです。



メモ:材料の厚さが 24 ~ 26 mmの場合

表面が柔らかい材料や、26 mmより薄いものを印刷することが多い場合は、かさ上げテーブルを使用してください。

☞ P.20 "材料をセットする(材料厚さ:0~26 mmの場合)"

材料をセットする(材料厚さ:0~26mmの場合)

手順

カバーを開ける。

2 ベーステーブルにかさ上げテーブルをセットする。

かさ上げテーブルの底面の位置決めピンを、ベーステーブル上面の穴に差し込みます。



8 粘着シートをセットする。

材料が大きい場合は、粘着シートを2枚使用してください。



4 材料をセットする。

材料の置き方

- 材料がテーブルに収まらないサイズの場合は、支えとなるものを置いて材料の水平を保って ください。
- 材料を粘着シートに貼り付けるようなイメージで軽く押さえつけてください。

厚さ 14 mm未満の材料は、どちらかのヘッド検出穴が見えるように材料をセットしてください。

どちらのヘッド検出穴を使用するかによって選択してください。



選択したヘッド検出穴の位置を METAZAStudio の画面上で設定します。

METAZAStudioの画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「左奥」もしくは「右手前」 をクリックして設定します。

ヘッド検出位置	> 左	奥
プロパティ(P) Alt-	+Enter 🗸 右	手前

厚さ14 mm以上の材料は、左奥のヘッド検出穴が見えるように材料をセットしてください。

右手前でヘッド検出を行うとヘッドが干渉してしまうため、左奥のヘッド検出穴を使ってヘッド検出 を行います。



ヘッド検出位置を METAZAStudio の画面上で設定します。

METAZAStudioの画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「左奥」をクリックして 設定します。

ヘッドを左奥に移動			
ヘッド検出位置	>	~	左奥
プロパティ(P)	Alt+Enter	_	右手前

ご注意

印刷面のごみやほこりは除去してください。

印刷面に付着しているごみやほこりを除去せずに印刷すると、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。

以上で、材料のセットは完了です。

☞ P.32 " 印刷データの作成 "

材料をセットする(材料厚さ:24~50 mmの場合)

手順







🛿 METAZAStudio の画面右上を右クリックー [LP をここに移動] をクリックする。

ヘッドが右奥に移動します。



3 左奥のノブ(小)をゆるめる。



4 ヘッド検出用治具を選ぶ。

ヘッド検出用治具は、材料の厚さによって使い分けてください。

材料の厚さ	使用するヘッド検出用治具
24 ~ 36 mm	
36 mmより厚い	高い 「 「 「

重要:ヘッド検出用治具は正しい高さのものを使用してください。

誤った治具を使うと、ヘッドが材料にあたり、印刷不良や部品の破損につながります。

ヘッド検出用治具のスリットをノブ(小)に差し込む。



6 ノブ (小) を締める。

ベーステーブルにまっすぐ上から押し付けた状態で固定してください。



ヘッド検出位置を METAZAStudio の画面上で設定します。

METAZAStudioの画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「左奥」をクリックして 設定します。

ላッት	を左奥に移動			
ላッት	検出位置	> •	/ 2	主奥
プロノ	(ティ(P) Alt	t+Enter	4	5手前

🕖 ベーステーブルの上に粘着シートをセットする。



8 材料をセットする。

材料の置き方

- 材料がテーブルに収まらないサイズの場合は、支えとなるものを置いて材料の水平を保って ください。
- 材料を粘着シートに貼り付けるようなイメージで軽く押さえつけてください。

ご注意

印刷面のごみやほこりは除去してください。

印刷面に付着しているごみやほこりを除去せずに印刷すると、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。 以上で、材料のセットは完了です。

☞ P.32 "印刷データの作成"

ヘッド検出用治具を右手前に固定する場合

左奥にヘッド検出用治具を固定できない場合(テーブルの左奥にワークをセットするときなど)は、右手 前に治具を固定してください。

① 右手前のノブ(小)をゆるめる。



2 ヘッド検出用治具のスリットをノブ(小)に差し込む。



- ③ ノブ(小)を締める。
 - ベーステーブルにまっすぐ上から押し付けた状態で固定してください。



ヘッド検出位置を METAZAStudio の画面上で設定します。 METAZAStudio の画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「右手前」をクリッ クして設定します。



材料をセットする(材料厚さ:50~216 mmの場合)





1 カバーを開ける。



2 ベーステーブルを取り外す。



8 粘着シートをワークエリアの底にセットする。

材料が大きい場合は、粘着シートを2枚使用してください。





🚺 METAZAStudio の画面右上を右クリックー [LP をここに移動] をクリックする。

ヘッドが右奥に移動します。



5 左奥のノブ(小)をゆるめる。



6 ヘッド検出用治具を選ぶ。

ヘッド検出用治具は、「材料の厚さ+底上げ」の高さにより使い分けてください。



重要:ヘッド検出用治具は正しい高さのものを使用してください。

誤った治具を使うと、ヘッドが材料にあたり、印刷不良や部品の破損につながります。

🕖 ヘッド検出用治具のスリットをノブ(小)に差し込む。



₿ ノブ(小)を締める。

テーブルにまっすぐ上から押し付けた状態で固定してください。



ヘッド検出位置を METAZAStudio の画面上で設定します。

METAZAStudioの画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「左奥」をクリックして 設定します。

ヘッドを左奥に移動			
ヘッド検出位置	>	~	左奥
プロパティ(P)	Alt+Enter	_	右手前

🕑 材料の厚さが 50 ~ 190 mmの場合は、ワークスペースの中に底上げを置く。



10 材料をセットする。

ご注意

印刷面のごみやほこりは除去してください。

印刷面に付着しているごみやほこりを除去せずに印刷すると、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。

🕼 材料の幅に合わせて材料固定枠をセットし、ノブ(大)を締める。

材料が固定されていることを確認してください。

幅が広い材料の場合





ヘッド検出用治具を右手前に固定する場合

左奥にヘッド検出用治具を固定できない場合(テーブルの左奥にワークをセットするときなど)は、右手 前に治具を固定してください。

① 右手前のノブ(小)をゆるめる。



② ヘッド検出用治具のスリットをノブ(小)に差し込む。



③ ノブ(小)を締める。

テーブルにまっすぐ上から押し付けた状態で固定してください。



ヘッド検出位置を METAZAStudio の画面上で設定します。 METAZAStudio の画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「右手前」をクリッ クして設定します。

ヘッドを左奥に移動			
ヘッド検出位置	>		左奥
プロパティ(P)	Alt+Enter	~	右手前

印刷データの作成

Step 1:印刷データ作成の準備をする

手	順
0	METAZAStudioを起動する。
	☞ P.13 "METAZAStudioを起動する "
2	ひ をクリックする。
	III 無題 - METAZAStudio
	ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 書式(T) 図形(O) ヘルプ(H)
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	「箔の選択」画面が表示されます。
3	「箔の選択」画面で箔を選択する。

「ドライバーの設定を使用する」のチェックを外すと箔を選択できます。リストにない箔を使う場合は、 登録することもできます。

⑦ P.82 "箔を登録して印字パワーを調整する"

箔の選択	
─箔 □ ドライバーの設定を使用する	
DF-8047/8079 DF-8047/8079	-
▲ ····································	ж

LD Driver の設定をそのまま使用する場合は、「ドライバーの設定を使用する」にチェックを入れてください。



6 [ファイル] – [環境設定] をクリックする。



「環境設定」画面が開きます。

- 6 「余白」を設定する。
 - ①「余白」を 2 mmにする。
 - [OK] をクリックする。

環境設定	×									
全般 配色 グリッド 曲線										
単位 ・ ミリメートル(M) C インチ(I) ・ 余白 材料の端から(G) 2 mm ・ 文字	(「−の文字(T) 盛り(S) ▼ 育効です									
フォント名(F) 「虹 M S Pゴシック	ABC									
Hj <u>I</u> ^{文字の高さ(H)} で ベ ³ mm C デ	ースライン(B) イセンダーライン(D)									
2 キャンセル										

ご注意

平面材料に印刷する場合は、2 mm以上の余白を取ってください。余白を 2 mm よりも小さくすると、レンズが材料の縁に当たって破損することがあります。

Step 2: 画像を読み込む

印刷する画像を読み込みます。

METAZAStudio で読み込めるデータ形式

- JPEG 形式
- BMP 形式
- ・ Illustrator のバージョン 8、7 の AI、EPS 形式
- ・ CorelDRAW のバージョン 8、7 からエクスポートした AI または EPS 形式
- ※ Illustrator と CorelDraw についてはいくつかの制限事項があります。詳細は、METAZAStudio のへ ルプを参照してください。
- ☞ METAZAStudio ヘルプ(「ヒントとテクニック」>「既存のデータを流用する」)

重要:本機での印刷に写真は不向きです。

画像や文字のデータを読み込んでください。

手順

0) 💐 をクリックする。										
	無題	- Metaza	Studio								
	ファイル(F)) 編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(0)	ヘルプ(H)					
		Ľ	3				≞l _a	\$	0	LΧ	പ്
	新規	材料	開く	保存	インポー	ト印刷	プレビュー	元に戻す	やり直し	フィット	ライブラ

[インポート] 画面が開きます。

2 ファイルを開く。

- 「ファイルの場所」でファイルのある場所を選択する。
- ②「ファイルの種類」で[Picture file]または[Adobe Illustrator file]を選択する。
- ③目的のファイルを選択する。

④ [開く] をクリックする。

■ 1)#-L		×
← → ① ■ > PC > デスクトップ >	✓ ひ デスクトップの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー	l≡ •	•
- ToYui_2014121 名前	更新日時 種類	^
= +#75+ 3 E Test.bmp	2016/06/06 15:11 BMP 7;	アイル
ConeDrive		
PC		
➡ ダウンロード		
デスクトップ		
F#1X7F	(2)	
ファイル名(N): Test.bmp	V Picture file (*.bmp;*.jpg)	~
		การท



指定した画像が読み込まれ、設定した余白の内側に表示されます。

メモ

配置した画像は、大きさや向きを変えたり、枠を付けたりしてアレンジできます。

☞ P.58 " 画像を加工する "

ご注意

材料に穴がある場合、穴の上に画像を配置しないでください。穴のある部分を印刷したい領域に含めると、 レンズが材料の縁に当たって破損することがあります。



Step 3: 文字を入力する

印刷する文字を入力します。

手順

A をクリックする。

🔳 無題 ·	METAZAS	tudio										-		×
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(O) へ	ルプ(H)									
		」 □ <	□ 保存	し インポート	🎒 印刷	<u>当</u> し プレビュー	へ 元に戻す	へ やり直し	〔〕 フィット	∩ 51ブラリ-	רם געדעא <i>ו</i>	名 画像切抜	 プロパティ	r
► / ↓ / ↓ A	F													

2 文字を入力する。

1 印刷領域上でクリックする。

② 文字を入力する。

入力した文字は、大きさや向きを変えたり、塗りつぶしたりすることができます。

☞ P.63 " 文字を配置/加工する "


Step 4:印刷位置と大きさを合わせる

- 1 本機のカバーを閉じる。
- 😢 METAZAStudio の印刷データの上で右クリック-[LP を図形の左上に移動]をクリックする。

レーザーポインターが照射され、指定した位置に移動します。

ご注意

[LP を図形の左上に移動]が無効になっている場合は、印刷データの図形が選択されていません。図 形を選択してから右クリックしてください。



- 材料に照射されたレーザーポインターの位置を確認する。
- METAZAStudioの印刷データの上で右クリックー [LP を図形の右下に移動]をクリックする。 レーザーポインターが照射され、指定した位置に移動します。
- 材料に照射されたレーザーポインターの位置を確認する。

印刷データの左上と右下の位置が、材料の中に収まっているかどうかを確認します。

- 🚯 必要に応じて、METAZAStudio で印刷データの位置や大きさを変更する。
 - ☞ P.59 " 画像の位置/大きさ/傾きを調整する "
 - ☞ P.63 " 文字の位置/大きさ/傾きを変更する "
- 🚺 2 ~ 🚯 をくり返して、意図した印刷位置になるよう調整する。



ご注意

同じ印刷データを使用して複数の材料や材料の裏表に続けて印刷する場合、材料を再度セットすると きに、レーザーポインターを使って位置合わせし直すことはできません。1回目に位置合わせした位 置に印をつけたり、位置決めピンを使用したりして、材料を同じ位置にセットできるようにしてくだ さい。



Step 5: 印刷データを保存する

作成した印刷データをファイルに保存します。

手順

0	」 をクリックする。
	■ 無題 - METAZAStudio
	ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 書 <u>ず(下)</u> 図形(O) ヘルプ(H)
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	名前を付けて保存]画面が開きます。
2	保存する場所」にファイルの保存先を指定する。
3	7ァイル名を入力する。
4	保存]をクリックする。
	名前を付けて保存 ×
	 ・ PC 、 デスクトップ 、 、 、 、 ・ で ・ ・
	整理 ▼ 新しいフォルダー
	PC ^
	ファイル名(M): Test.mzs ファイル名(M): Test.mzs マ
	 フォルダーの非表示 インパレダーの非表示

箔と光吸収フィルムをセットする

🚺 METAZAStudio の画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッドを左奥に移動」をクリックする。

2 材料の上に箔を乗せる。



箔には、表と裏があります。

印刷したい箔の色(光沢面)を上にして、材料に乗せてください。

3 フィルムフレームの支柱をテーブルの穴に合わせて差し込む。



重要:光吸収フィルムは、箔をのせた材料に密着させてください。

光吸収フィルムが、材料と密着していないと箔がうまく転写されません。

重要:光吸収フィルムは、レーザーをあてる箇所を変えながらお使いください。

同じ箇所を何回も使用すると、熱へ変換する効果が減少していきます。使用していない場所へ位置を ずらしながら使用し、使用する箇所がなくなったら光吸収フィルムを交換してください。

☞ P.51 "光吸収フィルムの寿命の目安"

印刷する

手順

レバーが 1 の状態になっていることを確認する。

☞ P.81 " 印字圧を調整する "



2 カバーを閉じる。

Ø METAZAStudioの画面上、任意の位置で右クリックし、「ヘッド検出位置」-「左奥」または「右 手前」をクリックする。

かさ上げテーブルを使用している場合:厚さ 14 mm以上の材料

ヘッド検出位置は、必ず「左奥」にしてください。右手前でヘッド検出を行うとヘッドが干渉する可 能性があります。



かさ上げテーブルを使用している場合:厚さ14mm未満の材料 かさ上げテーブルのどちらのヘッド検出穴を使用するかによって選択してください。



かさ上げテーブルを使用していない場合

ヘッド検出用治具の実際の取り付け位置に合わせて選択します。

ヘッドを左奥に移動			
ヘッド検出位置	>	~	左奥
プロパティ(P)	Alt+Enter	_	右手前

④ ▲ をクリックする。

[印刷] 画面が開きます。



⑤ 次の設定および確認を行う。



1	プリンター名	DGSHAPE LD-300
2	箔	箔を選択してください。箔は、印刷データを新規作成したときに選択した内容が 反映されています。
3	印刷範囲	主にバリアブル印刷の際に使用します。(通常は「すべて」が選択されています。) 印刷するレコード ^{**} を限定したいときに、対象レコード(対象ページ)を指定し てください。例えば、2つ目から5つ目までのレコードだけを印刷する場合には、 「ページ指定」を選択して「2」ページから「5」ページまでと設定します。
4	印刷部数	同じ材料に場所を変えていくつか印刷する場合には、複数の部数を指定してくだ さい。例えば材料の表と裏に印刷したいときは、「2」部と指定します。

[※] レコード:バリアブル印刷の場合のひとまとまりのデータに含まれる、個々のデータのことをいいます。

☞ P.77 "バリアブル印刷用のデータを作成する"

6 [OK] をクリックする。

印刷が始まります。

メモ:複数の部数またはレコードを印刷する場合

印刷が始まると以下のいずれかのメッセージが表示されます。そのままの状態で印刷が終了するのを 待って、次の手順に進んでください。

METAZAStudio	×	METAZAStudio	×
材料を交換してください。 OKを押すと2ページ目が印刷されます。		材料の準備をしてください。 OKを押すと 2 部目が印刷されます。	
OK キャンセル		OK キャンセル	

重要:印刷中は、絶対にカバーを開けないでください。

印刷中にカバーを開けると、印刷が停止し、正しく印刷できません。

🚺 印刷が終了したら、材料を交換するか、セット位置を変える。

☞ P.20 "材料をセットする(材料厚さ:0~26 mmの場合)"

☞ P.22 "材料をセットする(材料厚さ:24~50 mmの場合)"

☞ P.26 "材料をセットする(材料厚さ:50~216 mmの場合)"

ご注意

同じ印刷データを使用して複数の材料や材料の裏表に続けて印刷する場合、材料を再度セットするときに、 レーザーポインターを使って位置合わせし直すことはできません。1回目に位置合わせした位置に印をつ けたり、位置決めピンを使用したりして、材料を同じ位置にセットできるようにしてください。



- **8** カバーを閉じる。
- [OK] をクリックする。

次ページの印刷が始まります。

バリアブル印刷で表示しているレコードのみ印刷したい場合

<u></u>をクリックする。

[印刷] 画面が開きます。現在 METAZAStudio に表示されているレコードの順番(ページ番号)が「印 刷範囲」にページ指定されています。必要に応じて「箔」や「印刷部数」を設定し[OK]をクリッ クして印刷を開始してください。



Step 1: 印刷を中止する

1 電源/移動ボタンを1秒以上押し続ける。

送られた印刷データを消去している間はランプがゆっくり点滅します。消去が終わると消灯して電源 がオフになります。



゙メモ

印刷を中止した場合、ヘッドはそのままの位置で止まります。次に電源をオンにした際に初期動作によってヘッドが左奥へ移動します。

Step 2: 印刷待ちのデータを消去する

手順

プリンターのアイコンを表示する。

Windows 10 の場合

- (1) コンピューターの [スタート] メニューをクリックする。
- ② [Windows システムツール] [コントロールパネル] をクリックする。
- ③ [デバイスとプリンターの表示]をクリックする。

Windows 8.1 の場合

- ① コンピューターの [スタート] メニューをマウスの右ボタンでクリックする。
- (2) [コントロールパネル] をクリックする。
- ③ [デバイスとプリンター] をクリックする。

Windows 7 の場合

- ① [スタート] メニューをクリックする。
- デバイスとプリンター]をクリックする。
- **44** 第2章 印刷

2 [DGSHAPE LD-300] アイコンをダブルクリックする。



DGSHAPE LD-300

3 [プリンター]メニューから [すべてのドキュメントの取り消し] (または [印刷ドキュメントの) 削除])をクリックする。

\$	DGSHAPE LD-300			—		Х
プリン	<u> ソター(P)</u> ドキュメント(D) 表示(V)					
	接続(O)	有者	ページ サイズ		受付時刻	Ĭ
	通常使うプリンターに設定(T) 印刷設定(F)					
_	ドライバーの更新(D) 一時停止(A)					
	すべてのドキュメントの取り消し(L)					
	共有(H)					>



④ 図のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする。

プリンター	×
'DGSHAPE LD-300' のす しますか?	べてのドキュメントを取り消
	はい(Y) いいえ(N)

第3章 メンテナンスと調整

日常のお手入れ	47
日常のお手入れにおける注意事項	47
本体の清掃	47
粘着シートの清掃	47
フィルムフレームの清掃	48
調整	49
レーザーポインターの位置を調整する	49
消耗部品の交換	50
レンズの寿命を確認する	50
光吸収フィルムを交換する	51

日常のお手入れにおける注意事項

- ▲警告 ガソリン、アルコール、シンナーなど燃えやすいものは使わない。 火災の原因になります。
- ▲ 警告 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしない。 必ずお買い上げの販売店または当社コールセンターに相談してください。

▲ 警告 この作業は、すべての電源スイッチをオフにしたままで行うこと。 本機が突然動き、けがをすることがあります。

- 本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を使わないでください。
- 注油は一切しないでください。
- シリコーンを含有しているオイル、グリース、スプレーなどは使用しないでください。スイッチの接触不良の原因になります。

本体の清掃

- ・ 水を浸した布をかたく絞り、軽く拭いてください。
- カバーは傷がつきやすいので、やわらかい布をお使いください。

粘着シートの清掃

粘着シートにほこりなどが付くと粘着力が低下して、うまく材料が固定できなくなります。粘着力が低下 したときは、シートを洗ってください。



洗い方

粘着シートを水につけて、シート表面をやさしくなでるようにして洗ってください。粘着シートの汚れが ひどいときは、うすめた中性洗剤を使ってください。洗剤が残らないよう、よく水で洗い流してください。

ご注意

次のことをお守りください。守らないと、粘着シートの表面が傷つき粘着力が低下します。

- たわしやスポンジで粘着シートをこすらない。
- ・ 洗うときに粘着シートを引っ張ったり、折り曲げたりしない。

乾かし方

完全に乾くまで陰干ししてください。

フィルムフレームの清掃

フィルムフレームの粘着シートにほこりなどが付くと粘着力が低下して、光吸収フィルムが固定できなく なります。粘着力が低下したときは、フィルムフレームの粘着シートを洗ってください。



洗い方

粘着シートを水につけて、シート表面をやさしくなでるようにして洗ってください。粘着シートの汚れが ひどいときは、うすめた中性洗剤を使ってください。洗剤が残らないよう、よく水で洗い流してください。

ご注意

次のことをお守りください。守らないと、粘着シートの表面が傷つき粘着力が低下します。

- たわしやスポンジで粘着シートをこすらない。
- ・洗うときに粘着シートを引っ張ったり、折り曲げたりしない。

乾かし方

完全に乾くまで陰干ししてください。

レーザーポインターの位置を調整する

本機では、METAZAStudioと連携したレーザーポインターの照射位置をみて印刷位置を決めます。レーザー ポインターの照射位置に対して実際の印刷位置がずれた場合は、次の方法で調整してください。

手順



[LP 位置調整] 画面が表示されます。 画面の説明にしたがって作業を行ってください。

⑦ P.91 "レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager)"

用意する材料

- ・印刷面が平らな(曲面でない)材料
- 本機で印刷可能な材質
- ☞ P.17 "材料を用意する "
- ・ マーカーが収まるサイズ (30 mm × 30 mm 以上)の材料

LP位置調整	;
 課題用マーカーの印刷 計算計算体ームになりします。 3.計算計算体ームになりします。 4.計算的量量を運動に行うために、特別を指定してください。 4.印刷の量の機器2 2.カパーを掲げて、(印刷評論)をグリックします。 (EINNFT 常くによっと分かりつきょう) EIの研究法 	
は重要語 なのが特徴中心を起ことまえまでお持ちください。 1 - 1-14のためからして、簡単点を十字け近く時期します。 シ供知の形ので、簡単点も十字でしなんだかだます。 で #10 ・ *2	-
	OK +vizil

🚯 作業終了後、 🗙 をクリックする。

画面を閉じます。

🐨 LD-3	00 Head Manager	-	
-	Head Manager		\bigcirc

消耗部品の交換

レンズの寿命を確認する

レンズは消耗品です。レンズが寿命を迎えたら、交換してください。

レンズの寿命の目安

およそ 500 時間印刷したときが交換の目安です。

METAZAStudio でレンズの寿命を示すメッセージが表示されます。

METAZA	AStudio	\times
1	レンズの使用量が 90% を超えました。	
METAZA	Studio	×
1	レンズの交換時期です。 詳細をクリックし、レンズの状態をご確認ください。 詳細 OK	

[OK] をクリックするとメッセージが消えます。[詳細] をクリックすると LD-300 Head Manager が表示 されます。

レンズの状態の確認方法

レンズの状態は、LD-300 Head Manager で確認できます。

手順

LD-300 Head Manager を起動する。	
☞ P.10 "ソフトウェアを起動する "	
本機の電源をオンにする。	
⑦ P.9 "電源をオンにする"	
🐨 LD-300 Head Manager 🛛 — 🗌 🗙	
Hand Managar	
LD-300を一台接続し、電源をオンにしてください。	
レンズ交換 レンズ交換	
レンズの使用量	
赤いインジケーターが表示されたときは、別のレンズに 交換してください。	
	レンズの使用量を表示します。印刷すると、インジケーター の表示が少しずつ増えていきます。
最新の惜報に更新	── 画面の表示を最新の情報に更新します。
	LD-300 Head Manager を起動する。 ⇒ P.10 "ソフトウェアを起動する " 本機の電源をオンにする。 ⇒ P.9 "電源をオンにする " ▼ LD-300 Head Manager – × ● LD-300 Head Manager LD-300を

【メモ】

LD-300 Head Manager の「レンズの使用量」のインジケーターが、レンズの使用量に応じた表示になります。次の場合はレンズの交換時期です。

- インジケーターが赤く表示されている。
- ・インジケーターは赤になっていないが、きれいに印刷できない、または画像にムラがある。

- ※ 交換用レンズは別売りです。お買い求めについては、本機をお買い上げの販売店へお問い合わせ、 または当社ウェブサイト(https://www.dgshape.com/)をご覧ください。
- ※ レンズの交換手順については、交換用レンズに付属の説明書をご覧ください。

光吸収フィルムを交換する

同じ箇所を何回も使用すると、光吸収効果が減少していきます。使用していない場所へ位置をずらし、使 用する箇所がなくなったら光吸収フィルムを交換してください。

光吸収フィルムの寿命の目安

使用回数を重ねると発熱によるシワや波打つ様子が目立ったり、白くなったりします。下図のようになったら位置をずらすか、光吸収フィルムを交換してください。



白くなった部分では光を吸収できなくなり、 印刷ができません。 光吸収フィルムの交換方法

手順



フィルムフレームに新しい光吸収フィルムを貼る。

フィルムフレームの形状に合わせて、はみ出さないように貼ってください。



重要

光吸収フィルムは、材料面とレンズ面があります。フィルムフレームの形状に合わせることで、正しい面 を上にして貼ることができます。誤った面で本機を使用すると故障の原因になるため、注意して貼るよう にしてください。

メモ

フィルムフレームの粘着が弱くなった場合は、粘着シートを清掃してください。 ☞ P.48 "フィルムフレームの清掃"



フィルムフレームに合わせてデータを作成する		
画像を加工する		
画像の必要な部分だけを残す(トリミング)		
画像の位置/大きさ/傾きを調整する59		
画像をフレームで囲む61		
文字を配置/加工する		
文字の位置/大きさ/傾きを変更する63		
文字を扇形に配置する64		
図形に沿って文字を配置する66		
文字を塗りつぶす67		
線文字を生成/加工する		
線文字と SFEdit2 について69		
SFEdit2 画面70		
線文字フォントを生成する71		
入力した文字を線文字フォントに変換するれののののののである		
線文字を編集する75		
バリアブル印刷用のデータを作成する		
Step 1:「差し込み枠」を作成する77		
Step 2:「文字列」を「差し込み枠」に配置する80		
印刷条件を調整する		
印字圧を調整する81		
箔を登録して印字パワーを調整する82		
ドライバーの基本設定を変更する84		
METAZAStudio のその他の操作について86		

フィルムフレームに合わせてデータを作成する

フィルムフレームのセット位置を METAZAStudio の画面上で確認しながら印刷データを作成します。

手順

0	● をクリックする。							
	III 無题 - METAZAStudio							
	ファイル(F) 編 <u>集(F)</u> 表示(V) 書式(T) 図形(O) ヘルプ(H)							
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
	材料パネルが開きます。							
2	フィルムフレームの形状を選択する。							
	① [グループ] から [Material] を選択する。							
	② [アイコン]を選択する。							
	③ [LD-300] FilmFrame」をクリックする。							
	 ④ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
	材料							
	(1)							
	Material							
	 アイコン(1) ○ 一覧(1) 							
	LD300_FIImFrame							
	tag							
	サイズ 幅: 305.00 mm							

「材料サイズ」画面が開きます。

⑤ [OK] をクリックする。

設定値は変更しないでください。誤って変更した場合は以下のとおり設定値を戻してください。 幅:305 mm

高さ:230 mm



フィルムフレームが表示されます。



3 [ファイル] – [環境設定] をクリックする。



「環境設定」画面が開きます。

- 4 「余白」を設定する。
 - ①「余白」を 2 mmにする。
 - ② [OK] をクリックする。

環境設定	Х					
全般 配色 / グリッド 曲線						
単位 ・ ミリメートル(M) ・ インチ(I) ・ インチ(I) ・ ホロー ・ 本室 ・ 本室 ・ 「「「「「「「」」」 ・ 「「」」 ・ 「」」 ・ 」」 ・ 」 ・						
Xテ フォント名(F) ABC Imm S P ゴシック						
3 mm C ディセンダーライン(D) 2 0K キャンセル						

画像の必要な部分だけを残す(トリミング)

METAZAStudio は、オリジナルの画像から不要な部分を切り取って必要な部分だけを残すことができます。 この作業を「トリミング」と呼びます。

手順

1 画像を読み込む。

☞ P.34 "Step 2:画像を読み込む"

- 2 画像を選択する。
 - 1 なをクリックする。
 - (2) 画像をクリックする。



画像の周辺にトリミング用のポインターが8個できます。

3 トリミングする。

トリミング用のポインターをドラッグして、必要な部分だけ残るように調整してください。



画像の位置/大きさ/傾きを調整する

手順



画像の傾きを調整する場合

- (1) 画像の4隅にポインター(■)がある状態で、もう一度画像をクリックする。
 4 隅のポインターの形が(●)に変わります。
- カーソルをポインターに合わせる。
 カーソルの形が回転カーソルに変わります。
- ③ ドラッグして、画像の傾きを調整する。





(メモ)

- キーボードの Shift キーを押しながらドラッグすると、45 度ずつ傾きが変わります。正確に 90 度回転させたい場合などは、この方法で回転させるとよいでしょう。
- ・ 傾きを変えた画像をトリミングすることはできません。トリミングする場合は、元の角度に戻してか ら行ってください。

画像をフレームで囲む

手順



3 フレームの大きさと位置を調整する。

材料サイズよりフレームのサイズが小さい場合、図のようになります。調整方法は、画像の位置と大 きさの調整方法と同じです。

⑦ P.59 " 画像の位置/大きさ/ 傾きを調整する "



文字の位置/大きさ/傾きを変更する

配置した文字は、画像と同じように位置や大きさや傾きを変更できます。

手順

1 文字を入力する。

☞ P.36 "Step 3:文字を入力する"

- 2 文字の位置を調整する。
 - 1 k をクリックする。
 - ② 文字の上をクリックする。文字の周りにポインターが8個できます。
 - ③ 文字をドラッグして、位置を調整する。





ポインターをドラッグして大きさを調整します。



- ↓
 文字の傾きを調整する。
 - ① 四隅のポインターの形が (●) に変わるまで、文字の上をクリックする。
 - ② カーソルをポインターに合わせる。

カーソルの形が回転カーソルに変わります。

③ ドラッグして、傾きを調整する。



メモ

キーボードの Shift キーを押しながらドラッグすると、45 度ずつ傾きが変わります。正確に 90 度回転さ せたい場合などは、この方法で回転させるとよいでしょう。

文字を扇形に配置する

1 文字を入力する。

☞ P.36 "Step 3:文字を入力する"

2 📄 をクリックする。

[プロパティ] 画面が開きます。

入力した文字のテキストボックスが選択されていないと 📄 が選択できません。テキストボックスを 選択しておくようにしてください。

🌉 無題 -	METAZAS	Studio											
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(O) へJ	レプ(H)							\frown	
□ 新規			☐ 保存	、 インポート	🍰 印刷	≜5 プレビュー	へ元に戻す	へ やり直し) フィット	 רם געלענא	8 画集切	ブロパティ	
4 Q		L							_				
Α								1 C	\cap				
						<u>ר</u> ע.	P		U				

3 文字の配置を設定する。

- (1) 書式タブをクリックする。
- ② [曲線に沿う] にチェックを入れる。
- ③ [OK] をクリックする。

לם/(דָּו	×
サイズと形 塗りと輪郭 位置 書式	
フォント名(F) 文字のウェイト(W)	
Tahoma B Z LD-300	-
© TrueType C 線文字 □ 縦書きフォント □ 標準 □	太い
Hjユ 文字の高さ(H) 3 mm A B 文字間(C) (ア 曲線に沿う(T)]
間始高さ	
日I 文字の幅(I) () 行揃え(A) 上 100 % 「左揃え」 「重なった文字の合成()	.O)
	ャンセル

文字の配置が扇形に変わります。

)-30(

図形に沿って文字を配置する

作図ツールを使用して作った図形に沿って文字を配置します。

手順

図形を作成する。

- (1) 作図ツールをクリックする。
 - ここでは 🔘 を使用します。
- 2 材料の上に図形を作成する。
- ☞ METAZAStudio ヘルプ(「コマンド解説」>「ツールバーのボタン」)



2 A をクリックする。

作成した図形の輪郭付近にカーソルを持っていき、カーソルの下に



3 文字を入力する。

☞ P.36 "Step 3:文字を入力する "

図形に沿って文字が配置されます。



ご注意

統合した連続線上には配置できません。

文字を塗りつぶす

文字の塗りつぶしのタイプには、「塗りつぶし」と「アイランドフィル」の2種類があります。お好みに 合わせて選択してください。



塗りつぶし すき間なく印刷します。

🚺 文字を入力する。

☞ P.36 "Step 3:文字を入力する"



アイランドフィル 隣り合う塗りつぶし線の間隔を指定できます。

2 📄 をクリックする。

[プロパティ] 画面が表示されます。

入力した文字のテキストボックスが選択されていないと 📰 が選択できません。テキストボックスを 選択しておくようにしてください。



3 塗りつぶしを設定する。

- ① [塗りと輪郭] タブをクリックする。
- ② [塗りつぶし] にチェックを入れる。
- ③「塗りつぶし」または「アイランドフィル」を選択する。 「アイランドフィル」を選択した場合は、ピッチ^{**}も入力してください。 ※ピッチ:隣り合う塗りつぶし線の間隔
- ④ [OK] をクリックする。

文字が塗りつぶされます。



線文字と SFEdit2 について

線文字とは

線文字とは、元フォントの中心線を抽出した線画のことです。

SFEdit2 とは

SFEdit2 は、線文字フォントの生成と編集ができるソフトウェアです。全ての線文字は、連続線の組み合わせでできていますので、アンカーポイントの追加や削除、線分の追加などができます。METAZAStudioでは、SFEdit2 で生成、編集した線文字フォントを使用できます。

SFEdit2 画面



番号	名称 機能概要					
1	メニューバー	SFEdit2 のさまざまなコマンドを実行します。 ☞ SFEdit2 ヘルプ(「コマンド解説」)				
2	ツールバー	ツールバーには、[ファイルを開く]や[保存]など SFEdit2 のコマンドを実行 するためのボタンが用意されています。 ☞ SFEdit2 ヘルプ(「コマンド解説」>「ツールバーのボタン」)				
3	ステータスバー	ツールバーのボタンにマウスポインターを置いたときや、メニューのコマンド をポイントしたとき、その簡単な解説が表示されます。				
4	文字一覧	線文字化された文字の一覧を表示します。クリックすると、編集画面に文字が 表示されます。				
5	ベースライン	文字列を横に並べるときの基準線です。文字を横書きにしたとき、隣り合う文 字のベースラインが段差のない水平線となるように並べられます。				
6	仮想ボディ	文字を納めている枠です。枠の大きさは、元フォントの種類や文字によって異 なります。通常、枠の内部に収まるように文字を作ります。				
7	元フォントの文字	線文字編集の下絵として表示されます。元フォントは、線文字フォントのデザ イン元のフォントです。				
8	線文字	元フォントの中心線を抽出した線画です。すべての線文字は、アンカーポイン トの追加や削除、線分の追加などの編集ができます。 ☞ SFEdit2 ヘルプ(「操作手順」)>「Step2: 文字を整形する」)				



線文字フォントが自動生成されます。

戊しています。	
31%	
キャンセル	
5	成しています。 31%

6 🔛 をクリックする。



[保存] 画面が開きます。

6 生成した線文字に名前を付けて保存する。

①「線文字の名前」を入力する。

元フォントをベースにした名前にすると、後で区別がしやすくなります。ここでは例として「MS P ゴシック_SF」と入力しています。

② [OK] をクリックする。

(1) (2)	~
- 線文子の名前 0	
MS Pゴシック_SF ▼ キャン	tu

生成した線文字フォントが保存されます。



 M S P ゴシック_SK:sf2 [M S P ゴシック] - SFEdit2 ファイル(P) 編集(E) 表示(V) 図形(Q) ヘルプ(H) 	-	
	JK	
入力した文字を線文字フォントに変換する

事前に次のいずれかを実施済みであることを確認してください。

SFEdit2 インストール時に線文字フォントを生成している。

インストール時に図の画面が表示されています。このときに線文字フォントを生成しなかった場合は、 SFEdit2をインストールしなおして線文字フォントを生成してください。

☞ P.93 "ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい"

Roland SFEdit2 セットアップ	×
RSF生成画面 線文字を自動生成するフォントを選んでください。 ここでは作らず、あとで作ることもできます。	
▼ Arial(サンセリフ)	
✓ Courier(等幅フォント)	
▼ TimesNewRoman(セリフ)	
全て選択(S) 全て非選択(U)	
文字の中心線を抽出し、線文字を作ります。	
自動生成した線文字が気に入らないときは、修正ができます。	
InstallShield	1 440 mm 1
	17/2/

新たに線文字フォントを生成している。

♂ P.71 "線文字フォントを生成する"

手順

🚺 METAZAStudio で文字を入力する。

☞ P.36 "Step 3:文字を入力する "

2 📄 をクリックする。

[プロパティ] 画面が開きます。

入力した文字のテキストボックスが選択されていないと 📄 が選択できません。テキストボックスを 選択しておくようにしてください。

🔳 無題 ·	METAZAS	Studio											
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(O)	ヘルプ(H)								
		6		e .	4	<u>s</u> .	ŝ	0	X	പ	G	8	
新規	材料	開く	保存	インポー	ト 印刷	」 プレビュー	元に戻す	やり直し	フィット	ライブラリー	バリアブル	画像切払 プロ/	(ティ
	2												
∕∙ [""													
4				1	-								
Q													

3 線文字フォントを選択する。

- ① [書式] タブをクリックする。
- 2 [線文字]を選択する。

[フォント名]の選択肢が線文字フォントのみになります。

③ 線文字フォントを選択する。

לםולדיו	×
ガイズと形 塗りと輪郭 位置 配直 書式	1
	文字のウェイト(<u>W</u>)
C TrueType	標準 太い
Hj] 文字回面之(文字間(C) 3 (2) (注意文字) %	
開始高さ 「 ベースライン(B) DEF T 100 %	
HI 文字の幅() I-III 100 %	┏ 重なった文字の合成(<u>0</u>)
	4 ОК ++>tell

入力した文字が線文字に変換されます。フォントは ③ で選択した線文字フォントになっています。



線文字を編集する

手順

🚺 入力した文字を線文字にする。

☞ P.73 "入力した文字を線文字フォントに変換する"

2 線文字を編集できるようにする。

1 をクリックする。

② 編集したい線文字の上をクリックする。

線文字の周りにポインターが表示されます。

③ [編集] – [線文字] – [文字の編集] をクリックする。

	無題 -	METAZA	Studio								
	ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻)	書式(<u>I</u>) 🗵	図形(Q) へル	プ(<u>H</u>)					
	〕 新規	元に やり	:戻 す(U) 直し(R)	Ctrl+Z Ctrl+Y	。 インポート	🍰 印刷	<u>料</u> プレビュー	∽ 元に戻す	。 やり直し) () フィット	合 ライブラリー .
		切り コピ-	取り(T) -(C)	Ctrl+X Ctrl+C							
1	5	貼り 削防	付け(P) è(D)	Ctrl+V Del							
	-)	線文	<字(S)	6				1.1		•	
	• /	階調	同の反転(I)	(3)	文字	の編集(E).		IŦわ	HA 2	\ /	
		すべ	て選択(A)	Ctrl+A			_				
	☆										
	M										

SFEdit2 が起動します。

🚯 文字一覧から、編集したい線文字をクリックする。

編集したい線文字が仮想ボディの中に表示され、線文字が編集できるようになります。線文字の位置 や形などを変えてください。

☞ SFEdit2 ヘルプ(「文字(連続線)の編集」)



- ④ SFEdit2を終了する。
 - 1 🔙 をクリックする。

編集した内容が、選択している線文字フォントに上書き保存されます。

② × をクリックする。

SFEdit2 を終了します。



編集した内容を反映した線文字になります。



バリアブル印刷用のデータを作成する

印刷データの一部を差し替えて一枚ごとに異なるオブジェクトを印刷することを、「バリアブル印刷」と 呼びます。バリアブル印刷によって、材料を置き換えるたびにデータを作り直す必要がなくなり、異なる データを連続して印刷できます。

ご注意

異なるデータを連続して印刷できるのは、材料が同じ材料、同じサイズの場合のみです。

バリアブル印刷には CSV ファイルが必要です。

CSV ファイルはデータベースのファイルなどから作成できます。CSV ファイルの作成については、データベース等の管理者にご相談ください。

Step 1:「差し込み枠」を作成する

メモ:差し込み枠とは

文字列を配置する枠のことです。バリアブル印刷では、この差し込み枠の中のデータを差し替えて印刷していきます。

手順

🚺 METAZAStudio を起動する。

🌉 無題 -	METAZAS	Studio						
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(O)	ヘルプ(H)			
(\mathbf{D})		6		ų,	a	≞l,	ŝ	0
新規	材料	開く	保存	インポー	-ト 印刷	プレビュー	元に戻す	やり直し

「箔の選択」画面が表示されます。

2 「箔の選択」画面で箔を選択する。

「ドライバーの設定を使用する」のチェックを外すと箔を選択できます。リストにない箔を使う場合は、 箔を登録することもできます。

☞ P.82 "箔を登録して印字パワーを調整する"

箔の選	択	
箔	ドライバーの設定を使用する	
	DF-8047/8079 DF-8047/8079 鎮-3	
	設定-a 設定定-b 設設定-c 設設定-d	Ж

LD Driver の設定をそのまま使用する場合は、「ドライバーの設定を使用する」にチェックを入れてください。





6 METAZAStudioのワークエリア^{*}の上で、マウスを斜め下方向にドラッグ(マウスの左ボタンを 押したまま移動)する。

「文字列」を配置する「差し込み枠」ができます。 ※ ワークエリア=画面上の黒い部分





「プロパティ」画面が開きます。

🌉 無題 ·	METAZA	Studio									-		×
ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	書式(T)	図形(O) へ	ルプ(H)								
	材料	」 □ □<	□ 保存	「 インポート	🍰 印刷	<u>ま</u> ん プレビュー	 元に戻す	い。) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人)	 לם געדעא	8 画像切基)
N 🖯	3											\checkmark	

差し込み枠が選択されていないと、 📰 はクリックできません。 📰 をクリックできない場合は、 📐 をクリックしてから差し込み枠をクリック(選択)してください。 1 差し込み枠の「サイズ」などを設定する。 各設定の詳細は、METAZAStudioのヘルプ(「コマンド解説」-「[図形] メニュー」-「プロパティ」-「[プ ロパティ]ダイアログ」を参照してください。 ☞「ソフトウェアのヘルプの表示方法」については、セットアップガイドをご参照ください。 プロパティ サイズと形 塗りと輪部 位置 配置 骨式 幅(W) 60 mm] ⑧ 商さ(H) 30 mm [1 幅(W) 60 □ 縦檣比を固定(P) 回転角(A) 0 度 「 値き(S) 「 度 OK キャンセル 設定できたら、[OK]をクリックする。
 ④ 差し込み枠を印刷位置に移動する。 ① ▶をクリックする。 (2) 差し込み枠をドラッグして移動する。 III 無題 - METAZAStudio – 🗆 🗙 □ □ 新規 材料 **► K H** Q A □ O Q ☆ \ ~ 188 ø

Step 2:「文字列」を「差し込み枠」に配置する

手順

🚺 [CSV ファイル読み込み]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

「バリアブル印刷」ウィンドウが表示されていない場合は、 🕞 をクリックしてください。



2 CSV ファイルを指定して [開く] をクリックする。

← → ~ ↑ 🗖	> P0	C > デスクトップ >	v ⊙	デスクトップの	検索	P
整理 ▼ 新しいフ	オルダー				88 -	0
 PC ダウンロード デスクトップ 	î	List.csv				
 ドキュメント ビクチャ 		<				
	771	N名(M): List.csv	~	CSV Files (*	(6)	 ~

指定した CSV ファイルが METAZAStudio に読み込まれます。

🚯 読み込んだ CSV ファイルの列のタイトルを「差し込み枠」にドラッグ & ドロップする。

「差し込み枠」に「文字列」が表示されます。



画面下の **▶** をクリックすると、各シンボルを順番に表示できます。差し込み枠のサイズや位置 などを変更したい場合は、「プロパティ」画面を開いて(**○** をクリック)設定しなおしてください。

印字圧を調整する

印刷するときにヘッドが材料にかける圧力(印字圧)に合わせて、レバーのセット位置を変えます。

. 1

はじめての材料の印刷ではまず、この位置にセットして印刷してください。

• **そ**または **3**

数字が大きくなるにつれ、材料への印字圧が大きくなります。印字圧を大きくすることで 🦆 よりも 箔が材料によく定着します。柔らかい材料や、表面に凹凸のある材料で、 🦆 ではきれいに印刷され なかった場合に、この位置にセットして印刷してみてください。

ただし、印字圧が大きいほど材料に印刷あとが残ったり、箔の光沢がなくなったりする可能性があり ます。端材などでテスト印刷して、適切な印字圧を決めてください。



箔を登録して印字パワーを調整する

本機は、使用する材料の箔に合った印字パワーで印刷することで、より高品質な印刷結果を得られます。 LD Driver には、あらかじめいくつかの箔とそれらに合った設定がされていますが、箔とその箔に最適な 設定を自分で登録することもできます。また、自分で登録した箔では、よりよい印刷結果を得られるように、 後で印字パワーを調整することもできます。

手順

LD Driver の印刷設定画面を表示する。

☞「LD Driver の印刷設定画面の表示方法」については、セットアップガイドをご参照ください。

- 2 印刷モードを選択する。
 - (1) [画像補正] タブをクリックする。
 - (2) [箔] (設定 a ~ d のどれか1つ)を選択する。

③ 印刷モードで「テキスト」または「その他」を選択する。

テキスト	文字など輪郭のはっきりした画像を印刷したいとき。
その他	分解能(点の密度の粗さ)を変えて粗密の差による表現をしたり、小さい文字 や図柄で粗さが目立つときに点の密度を濃くしたりしたいときに選択します。 [詳細設定]をクリックすると、画像の解像度などを設定することができます

☞ LD Driver ヘルプ(「[画像補正] タブ」)

④ [詳細設定] をクリックする。

📾 DGSHAPE LD-300のプロパティ	Х
道 (
<u></u> ₹ 5 ~	
DGSHAPE	
OK キャンセル ヘルブ	f

[詳細設定] 画面が表示されます。

⑦ 印刷モードの詳細を設定する。

1 登録する箔に名前を付けて入力する。

② 速度と印字パワーを入力する。

印刷結果は箔によって変わります。箔に合わせて調整してください。

[☞] LD Driver ヘルプ([画像補正]タブ>[詳細設定]ダイアログボックス)

Speed	印字スピードを変更します。画像(ラスター)印刷、線画印刷ともに印刷スピー ドは、指定値になります。印刷スピードの上限は、48 mm/sec です。
PowerMIN	画像の最も暗い(グレー)部分の印字パワーを設定します。
PowerMAX	画像の最も明るい(白)部分の印字パワーを設定します。
ベクター Power	線画の印字パワーの最大値を設定します。

③「高度な設定」を選択する。

「高度な設定」は、手順 2の ③ で [その他] を選択している場合にのみ設定できます。 ☞ LD Driver ヘルプ([画像補正] タブ> [詳細設定] ダイアログボックス)

出力解像度	1 インチあたりの点の数を指定できます。点の数が多いほど、精密な画像にな ります。
ドラフティング	画像情報を1 ドット間隔で間引き、画像を見やすくします。小さい文字や線は、 間引くと粗さの目立つ印刷になることがあり、そのときは「なし」に設定します。

④ [OK] をクリックする。



[詳細設定] 画面を閉じます。

ドライバーの基本設定を変更する

手順

プリンターのアイコンを表示する。

Windows 10 の場合

- ① コンピューターの [スタート] メニューをクリックする。
- ② [Windows システムツール] ー [コントロールパネル] をクリックする。
- ③ [デバイスとプリンターの表示]をクリックする。

Windows 8.1 の場合

- ① コンピューターの [スタート] メニューをマウスの右ボタンでクリックする。
- コントロールパネル]をクリックする。
- ③ [デバイスとプリンター]をクリックする。

Windows 7 の場合

- ① コンピューターの [スタート] メニューをクリックする。
- ② [デバイスとプリンター] をクリックする。

② [DGSHAPE LD-300]をマウスの右ボタンでクリックし、〔印刷設定〕をクリックする。 LD Driver の印刷設定画面が表示されます。目的に応じて各設定を変更してください。

DGSHAPE	
20-300	印刷ジョブの表示(E)
	诵堂使うプリンターに設定(A)
	印刷設定(G)

	8	設定が終了	したら	[OK]	をク	IJ	ッ	53	まる	5.
--	---	-------	-----	------	----	----	---	----	----	----

ソノツーのノロハノ 1(ド)

🖶 DGSHAPE LD-300 🎫 印刷設定	×
📕 材料 📃 画像補正 📕 オプション	
ワークサイズ	
幅 305.0 長さ 230.0 単位: ● ジメートはんM) ○ インチCD	
□手前から印字(B) □双方向印字(D)	パージョン/吉非((A)
DGSHAPE	設定(保存(S)
OK キャンセル	適用(A) ヘルプ

解説

LD Driver では、表示単位などの様々な基本設定ができます。基本設定は、あらかじめ前頁の方法で設定 しておくことで継続的に適用されるようになります。

なお、これらの設定は METAZAStudio からも変更できますが、記憶されません。

手順

[ファイル] ー [プリンターの設定] ー [プロパティ] をクリックする。 [DGSHAPE LD-300 のプロパティ] 画面が表示されます。目的に応じて各設定をしてください。

METAZAStudio のその他の操作について

第5章 付録

こんなときは	
「電源/移動」ボタンが点滅している	88
印刷データを送っても本機が動かない	88
METAZAStudio で箔を選択できない	88
METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない	89
思った場所に印刷できない	89
印刷が汚い(むら、よれがある)	90
いつも同じ場所が印刷されない	90
印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい	91
レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager)	91
ドライバーを個別にインストールしたい	91
ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい。	93
ドライバーをインストールできない	94
ドライバーをアンインストールしたい	97
移送するときは	
Step 1:材料固定具を本機から取り外す	
Step 2: 固定具を本機に取り付ける	
大休什样	102
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	102
クロリ領域	10/
HPM) 限後	104
レーソーホインテー派が戦団	105
に恰电 塚のよびアリアル留ちの衣亦世直	

「電源/移動」ボタンが点滅している



印刷データを送っても本機が動かない



METAZAStudio で箔を選択できない



METAZAStudio で材料やライブラリーが表示されない



本機に付属の DGSHAPE Software Package の CD から METAZAStudio と SFEdit2 のソフトウェアをインストールし直し てください。その際は、すでにインストール済みのものはアン インストールせずに、再度インストールするようにしてください。

P.93 "ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい"

思った場所に印刷できない





いつも同じ場所が印刷されない



印刷場所以外に残った、不要な箔を取り除きたい

意図しない場所に箔が残ってしまった場合は、セロハンテープで不要な箔を取り除いてください。

レーザーポインター位置の調整に失敗した(Head Manager)

エラー画面が表示され、LD-300 Head Manager の「LP 位置調整」を最初からやり直しても失敗するときは、 当社コールセンターまでご連絡ください。

☞ P.49 " レーザーポインターの位置を調整する "

ドライバーを個別にインストールしたい

本機では、LD Driver とソフトウェアをまとめてインストールできます。まとめてインストールする方法は、 セットアップガイドを参照してください。

手順

🚺 「コンピューターの管理者」(または 「Administrators」) のアカウントで Windows にログオンする。

2 DGSHAPE Software Package の CD を、コンピューターの CD-ROM ドライブに挿入する。

自動再生画面が表示された場合は、[menu.exe の実行] をクリックしてください。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[許可] または [はい] をクリックしてください。しばらくすると、インストールメニューが表示されます。

윐 すでに LD Driver をインストールしている場合は、アンインストールする。

☞ P.97 " ドライバーをアンインストールしたい "

インストールしていない場合、またはアンインストールしてある場合は、手順 🔮 に進んでください。



🕹 DGSHAPE Software Package for LD-3	300 ×
DGSHAPE	
LD-300 DGSHAPE Software Package	
インストール	個別にインストール



💪 「インストール」、機種名「DGSHAPE LD-300」、ポート「USB」を選択し、「開始」をクリックする。

蒕 ドライバーのセットアップ		×
O インストール		
0アンインストール		
機種名:		
DGSHAPE LD-300		~
ポート:		
USB	~	通信条件
開始		キャンセル

LD Driver のインストールを開始します。画面の説明にしたがって進めてください。 インストール中に次の画面が表示されたら、「インストール」をクリックしてください。



👔 図の画面が表示されたら「完了」をクリックする。



インストールメニュー画面の × をクリックする。



G CD を CD-ROM ドライブから取り出す。

10 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する。

USB ケーブルは付属のものを使用してください。USB ハブは使用しないでください。

LD Driver が自動的にインストールされます。

ソフトウェアと電子マニュアルを個別にインストールしたい

手順

- 🚺 「コンピューターの管理者」(または 「Administrators」) のアカウントで Windows にログオンする。
- 2 DGSHAPE Software Package の CD を、コンピューターの CD-ROM ドライブに挿入する。

自動再生画面が表示された場合は、[menu.exe の実行]をクリックしてください。[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら、[許可]または[はい]をクリックしてください。しばらくすると、インストールメニューが表示されます。

🚯 「個別にインストール」をクリックする。

Software Package for LD-3	100 ×
DGSHRPE	
LD-300 DGSHAPE Software Package	
インストール	個別にインストール

🕢 インストールしたいソフトウェアまたは電子マニュアルの「インストール」をクリックする。

DGSHAPE Software Package for LD-300		×
LD Driver	インストール	Readme をみる
METAZAStudio	インストール	Readme をみる
SFEdit2	インストール	Readme をみる
LD-300 Head Manager	インストール	Readme をみる
LD-300 Manuals	インストール	
e		

LD Driver のインストールについては、P.91 "ドライバーを個別にインストールしたい"を参照してください。

画面の指示にしたがって、インストールを進める。

[ユーザアカウント制御] 画面が表示されたら、[許可] または [はい] をクリックし、インストールを 進めてください。

ᠪ インストールが完了したら、インストールメニュー画面の × をクリックする。

DGSHAPE Software Package for LD-300	×
LD Driver	インストール Readme をみる
METAZACHIJIA	

🚺 CDを CD-ROM ドライブから取り出す。

ドライバーをインストールできない

インストールが途中で中断してしまったときや、USB ケーブルを接続してもウィザードが表示されないときは、LD Driver をインストールできていない可能性があります。そのような場合は、以下の手順にしたがってください。(手順 A で解決しない場合は、手順 B を行ってください。)

Windows 10、8.1(手順 A)

手順

- 🚺 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにします。
- 2 [デスクトップ] をクリックします。
- 以下の手順にしたがって、[デバイスとプリンター(の表示)]をクリックします。

Windows 10 の場合

- ① [スタート] メニューをクリックします。
- ② [Windows システムツール] [コントロールパネル] をクリックします。
- ③ [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- 94 第5章 付録

Windows 8.1 の場合

① [スタート] ボタンを右クリックして、[コントロールパネル] をクリックします。

(2) [デバイスとプリンター]をクリックします。

- 👍 「未指定」欄にお使いの機種が表示されていることを確認します。
- お使いの機種のアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[デバイスの削除]をクリックします。
- 🚯 「このデバイスを削除しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。
- 👔 お使いの機種のアイコンが、「未指定」欄から無くなっていることを確認します。
- · 機器とコンピューター間の USB ケーブルをいったん外してから、接続しなおします。お使いの
 · 機器のプリンターアイコンが「プリンター」欄に表示されれば Windows ドライバーは正しくイ
 ンストールできています。
- g) この方法で問題が解決できなかった場合は、次の「Windows 10、8.1(手順 B)」を行ってください。

Windows 10、8.1 (手順 B)

手順

- 🚺 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにします。
- ② [新しいハードウェアの検出]が表示されていたら、[閉じる]をクリックして閉じます。本機以 外のプリンターの USB ケーブルを抜いておきます。
- [デスクトップ] をクリックします。
- 🕼 [スタート] ボタンを右クリックして、[デバイスマネージャー] をクリックします。
- [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] をクリックします。[デバイスマネー ジャー] が表示されます。
- 🚯 [表示] メニューから [非表示のデバイスの表示] をクリックします。
- リストで[プリンター]もしくは[ほかのデバイス]を探し、それをダブルクリックします。その下に表示されたお使いの機種名または[不明なデバイス]をクリックして選択します。
- 🚯 [操作] メニューから [削除] または[デバイスのアンインストール] をクリックします。
- 「デバイスのアンインストールの確認」画面で[OK]、または「デバイスのアンインストール」 画面で、[アンインストール]をクリックします。[デバイスマネージャー]を閉じます。
- 🕧 コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動します。
- Windows ドライバーをアンインストールします。P.97 "Windows 10、8.1" の手順 3 以降に従って アンインストールしてください。
- 「セットアップガイド」(「ソフトウェア類をインストールする」)または、P.91 "ドライバーを個別
 にインストールしたい"の手順に従って、最初からインストールをやりなおします。

Windows 7(手順 A)

手順

- 🚺 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにします。
- 🛿 [スタート] メニューをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
- 🚯 「 未指定」欄にお使いの機種が表示されていることを確認します。
- お使いの機種のアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[トラブルシューティング]をクリックします。
- 「このデバイスのドライバーをインストール」というメッセージの画面が表示されたら、「この修正を適用します」をクリックします。
- 『プリンター(機種名)を通常使うプリンターにする』かどうかを聞かれたら、「この修正をスキップします」をクリックします。
- 『トラブルシューティングが完了しました』というメッセージ表示されたら、「トラブルシューティングツールを終了する」をクリックします。

お使いの機器のプリンターアイコンが「プリンター」欄に表示されれば Windows ドライバーは正しくインストールできています。この方法で問題が解決できなかった場合は、次の「Windows 7 (手順 B)」を行ってください。

Windows 7 (手順 B)

手順

- 🚺 [新しいハードウェアの検出] が表示されていたら、[閉じる] をクリックして閉じます。
- 【2 [スタート] メニューをクリックし、[コンピューター] をマウスの右ボタンでクリックします。[プロパティ] をクリックします。
- [デバイスマネージャー]をクリックします。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されますので、[続行]をクリックします。[デバイスマネージャー]が表示されます。
- 🚺 [表示] メニューから [非表示のデバイスの表示] をクリックします。
- 「リストから、[ほかのデバイス]を探し、それをダブルクリックします。その下に表示されたお 使いの機種名または[不明なデバイス]をクリックして選択します。
- 🚯 [操作] メニューから [削除] をクリックします。
- 「デバイスのアンインストールの確認」画面で「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除 する」を選択し、[OK] をクリックします。[デバイスマネージャー]を閉じます。
- 🚯 コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動します。
- Windows ドライバーをアンインストールします。P.98 "Windows 7" の手順 3 以降に従ってアンイ ンストールしてください。

「セットアップガイド」(「ソフトウェア類をインストールする」)または、P.91 "ドライバーを個別 にインストールしたい"の手順に従って、最初からインストールをやりなおします。

ドライバーをアンインストールしたい

LD Driver をアンインストールするときは、次の手順で行ってください。

Windows 10、8.1
手順
※次の手順でアンインストールしない場合、再インストールできなくなる可能性があります。
2 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンします。
③ [デスクトップ]をクリックします。
④ 以下の手順にしたがって、[コントロールパネル]をクリックします。
Windows 10 の場合 ① [スタートメニュー] をクリックします。 ② [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックします。
Windows 8.1 の場合 ①[スタート] ボタンを右クリックして、[コントロールパネル] をクリックします。
「プログラムのアンインストール]をクリックします。
 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <
。 <i>⑧</i> [スタート]を右クリック - [デスクトップ]をクリックします。
 ・ ・ ・
🕡 「SETUP64.EXE」(64 ビット版)、または「SETUP.EXE」(32 ビット版)をダブルクリックします。
 ・① 「ユーザーアカウント制御]が表示されたら、「許可]または「はい」をクリックします。 Windows ドライバーのインストーラープログラムが起動します。
😰 [アンインストール] をクリックします。削除する機器を選択して、 [開始] をクリックします。
コンピューターの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されますので、[はい]をクリックします。
◎ コンピューターボ亜和動したちと、西ボコントロールパラルたまテレ「デバイフトプリンター

(4) コンピューターが再起動したあと、再びコントロールパネルを表示し[デバイスとプリンターの表示]または、[デバイスとプリンター]をクリックします。

Windows 7

手順

※次の手順でアンインストールしない場合、再インストールできなくなる可能性があります。

🚺 アンインストール作業をする前に、コンピューターから USB ケーブルを抜いておきます。

- 😢 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンします。
- ③ [スタート]メニューから [コントロールパネル]をクリックします。[プログラムのアンイン ストール]または、[プログラムと機能]をクリックします。
- ④ 削除する機器の Windows ドライバーをクリックして選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 削除確認のメッセージが表示されますので、
 [はい]をクリックします。
- 🚺 Windows ドライバーの入ったドライブ名またはフォルダー名を選択します。(※ 注釈)
- ⑥ 「SETUP64.EXE」(64 ビット版)、または「SETUP.EXE」(32 ビット版)を選択して [開く] をクリックしたあと、[OK] をクリックします。
- g [ユーザーアカウント制御] が表示されますので、 [許可] をクリックします。
- 1 Windows ドライバーのインストーラープログラムが起動します。
- ① [アンインストール]をクリックして選びます。削除する機器を選択して、[開始]をクリックします。
- 2 コンピューターの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されますので、[はい]をクリックします。
- 1) コンピューターの再起動が終了するとアンインストール終了です。
 - (※注釈)

CDを使うときは、次のフォルダーを指定します。(CD ドライブが D ドライブの場合)

D:¥Drivers¥WINX64 (64 ビット版)

D:¥Drivers¥WINX86 (32 ビット版)

DGSHAPE Software Package CD を使わない場合は、削除する機器の Windows ドライバーを当社サイト (https://www.dgshape.com/) からダウンロードし、解凍先のフォルダーを指定します。

98 第5章 付録

移送するときは

ご注意

移送するときは、必ず以下の取り外しと取り付けを行ってください。そのまま移送すると、本機が破損す ることがあります。

レールに触れないよう作業すること

むやみに触れるとグリースがとれてレールがさびてしまいます。



Step 1: 材料固定具を本機から取り外す

手順

- 電源がオフになっていることを確認する。
- 2 電源コード等のケーブル類をすべて抜く。
- 3 ベーステーブル以外の材料固定具をすべて取り外す。



Step 2: 固定具を本機に取り付ける

手順

本機の背面に保管していた固定具 A、B、Cを取り外す。



2 ヘッドをゆっくりと一番奥の中央へ移動する。

3 固定具 B、Cを取り付ける。



4 ヘッドをゆっくりと左へ移動する。

勢いよく動かさないように注意してください。



り ロックレバーを 1 にセットする。



6 ヘッドを上に持ち上げながら、固定具 A を取り付ける。

固定具 A をレバーの下から押しあてるように固定します。固定後、ヘッドが上下に動かないことを確認してください。



🚺 本機のカバーを閉じる。

8 梱包箱に梱包する。

本機を移動するときは、必ず底を両手で支えてください。それ以外の場所を持って移動すると破損す ることがあります。



本体仕様

ワークエリア

ベーステーブル

単位:mm



かさ上げテーブル

単位:mm



材料固定枠

単位:mm



印刷領域

最大印刷領域

単位:mm



レーザーの可動領域

単位:mm



レーザーポインター照射範囲

単位:mm



定格電源およびシリアル番号の表示位置



